



# TELOP BOX

for datavideo TC-200

画像登録ソフトマニュアル

Ver.1.0

**NIXUS**

passion for innovation

日興通信株式会社

2016.07.01 作成

目 次

1. 画像登録ソフトとは？ .....	3
2. 画面 .....	3
2.1. データベースの選択 .....	3
2.2. アドレスの指定 .....	3
2.3. アドレスの名称変更 .....	4
2.4. プレビュー画像の切り替え .....	5
2.4.1. 画像サイズ .....	5
2.4.2. 画像タイプ .....	6
3. テロップ管理 .....	7
3.1. テロップの選択方法 .....	7
3.2. コピー/貼り付け .....	7
3.3. 移動 .....	8
3.4. テロップの上書き .....	8
3.5. 削除 .....	9
3.6. 他のデータベースコピー .....	10
3.7. ファイルのコピー .....	10
3.8. プロパティの変更 .....	11
3.8.1. エフェクトの設定 .....	12
3.8.2. 属性の設定 .....	12
3.9. 作画編集 .....	12
4. 画像変換 .....	13
4.1. 対応ファイル形式 .....	13
4.1.1. 画像形式 .....	13
4.1.2. 画像サイズ .....	13
4.1.3. その他対応形式 .....	13
4.2. 変換方法 .....	13
4.3. 静止画ファイルの保存 .....	14
4.4. 連番ファイル出力 .....	15
4.5. エフェクトプレビュー .....	16

## 1. 画像登録ソフトとは？

TELOP BOX には番組の中に保存されるテロップと、全ての番組から参照することができるテロップ(グローバルアドレステロップ)の 2 種類があります。画像登録ソフトはグローバルアドレステロップの保存/管理を行います。また、登録したテロップを TGA ファイルとして取り出すことも可能です。

## 2. 画面

画面は「データベース」と「アドレスエリア」、「プレビューエリア」の 3 つに分かれています。

データベース、アドレスエリアで指定したデータがプレビューエリアに表示されます。



### 2.1. データベースの選択

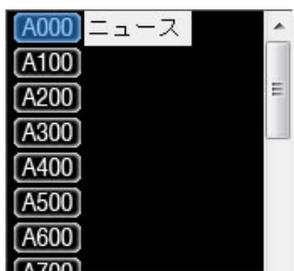
データベース選択エリアの上部には、使用可能なデータベースのリストを表示します。

このリストを選択することで、データベースを変更することができます。



### 2.2. アドレスの指定

プレビューするアドレスをクリックします。キーボードでも指定することができます。例えば、「A」の「900」を指定する場合は、[A]キーを押し、[9]キーを押します。



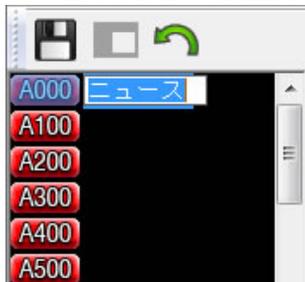
### 2.3. アドレスの名称変更

アドレスエリアではアルファベットと数値以外に、名称をつけることができます。例えば、「A000」というアドレスに「ニュース」という名称をつけることができます。名称をつけることにより、登録されている内容をよりわかりやすく管理することができます。

[アドレス編集]ボタンをクリックすると、編集モードに切り替わります。切り替わるとアドレスが赤色のボタンに変わります。



名称を編集したいアドレスを選択後、[Enter]キーを押し任意の文字列を入力します。再度[Enter]キーを押下すると確定します。



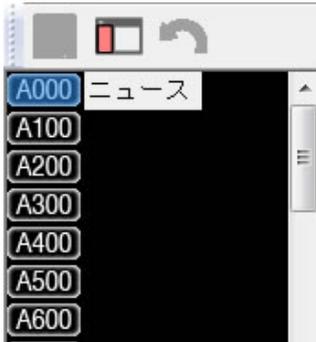
編集を保存する場合は[保存]ボタンをクリックします。

編集をキャンセルする場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

## 保存 編集キャンセル

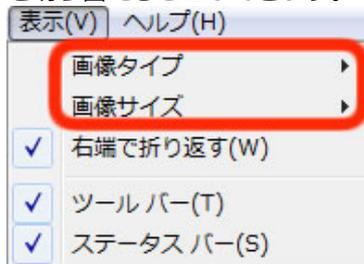


内容が確定されると、アドレスが赤色から通常の黒色に戻ります。



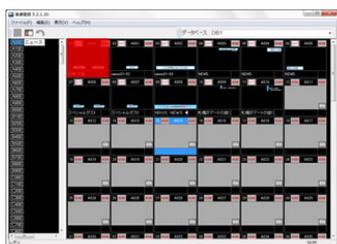
## 2.4. プレビュー画像の切り替え

プレビューエリアにはデータベース選択エリアで指定されたアドレス内に登録されているテロップのサムネイルを表示します。このサムネイルは[表示]メニューによって、画像サイズ・画像タイプを切り替えることができます。

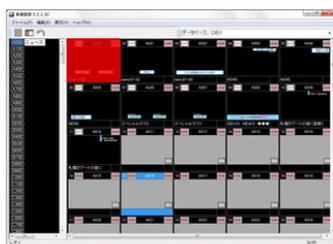


### 2.4.1. 画像サイズ

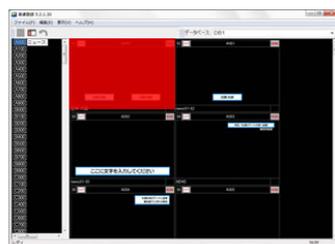
画像サイズは極小・小・中・大・特大の5サイズから選択することができます。



**極小**



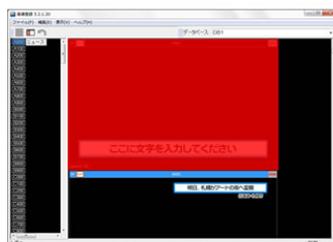
**小**



**中**



**大**



**特大**

## 2.4.2. 画像タイプ

BMP・TGA の 2 タイプで切り替え可能です。



**BMP形式**



**TGA形式**

BMP 形式・・・描画速度が速く、画像は荒い

TGA 形式・・・描画速度は遅いが、画像は高精細

BMP 形式の場合、画像サイズを[大]または[特大]とすると画像が荒くなりますので、TGA 形式にすることをおすすめします。

TGA 形式にして表示が遅く感じる場合は、BMP 形式に変更することをおすすめします。

## 3. テロップ管理

グローバルアドレスのテロップを別のアドレスへコピー/移動、必要のないテロップを削除します。

また、テロップのタイトルやエフェクトの変更、属性の変更や作画編集を行うこともできます。

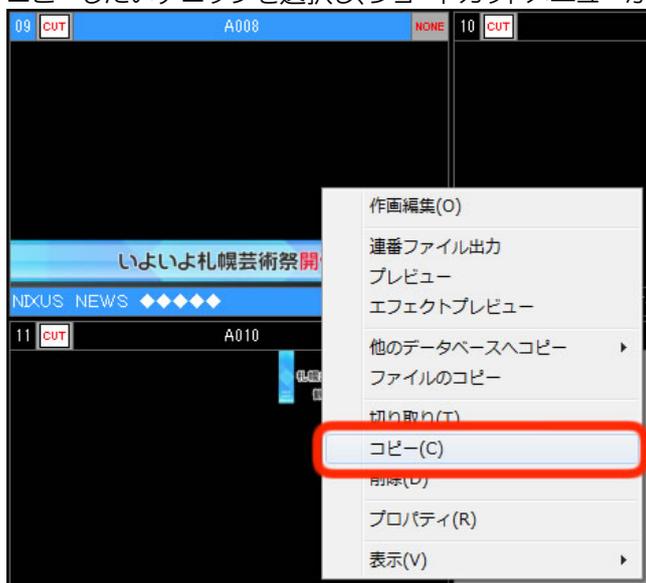
### 3.1. テロップの選択方法

選択したいテロップをクリックしてください。

複数連続して選択したい場合は[Shift]キーを押しながらクリック、任意に複数選択したい場合は[Ctrl]キーを押しながらクリックしてください。

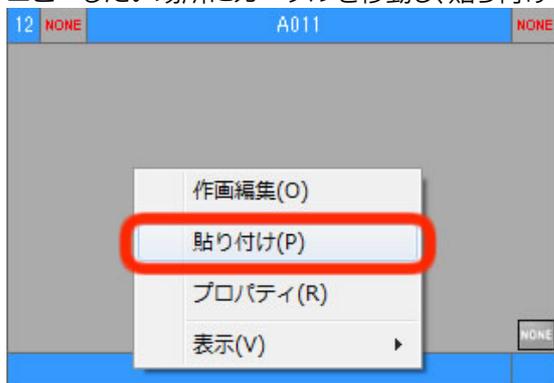
### 3.2. コピー/貼り付け

コピーしたいテロップを選択し、ショートカットメニューから[コピー]を選択します。



[編集]メニューで[コピー]を選択、または [Ctrl]キー+[C]キーの押下でも行えます。

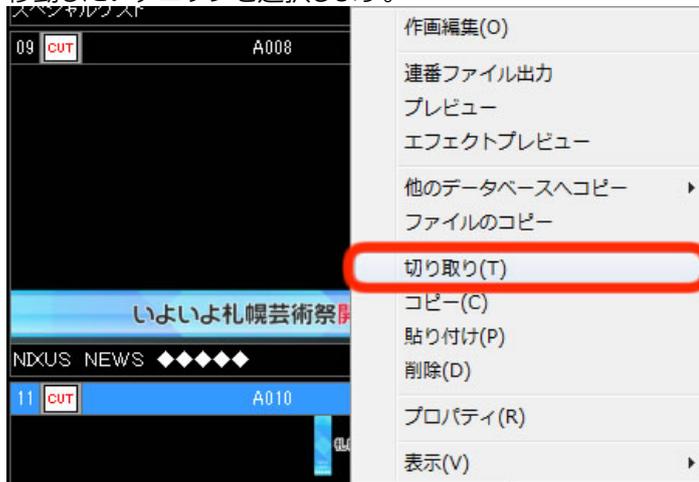
コピーしたい場所にカーソルを移動し、貼り付けを行います。



[編集]メニューで[貼り付け]を選択、または [Ctrl]キー+[V]キーの押下でも行えます。

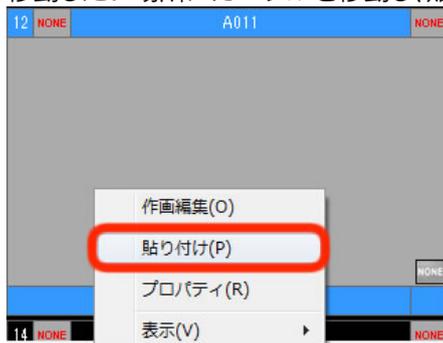
### 3.3. 移動

移動したいテロップを選択します。



[編集]メニューで[切り取り]を選択、または [Ctrl]キー+[X]キーの押下でも行えます。

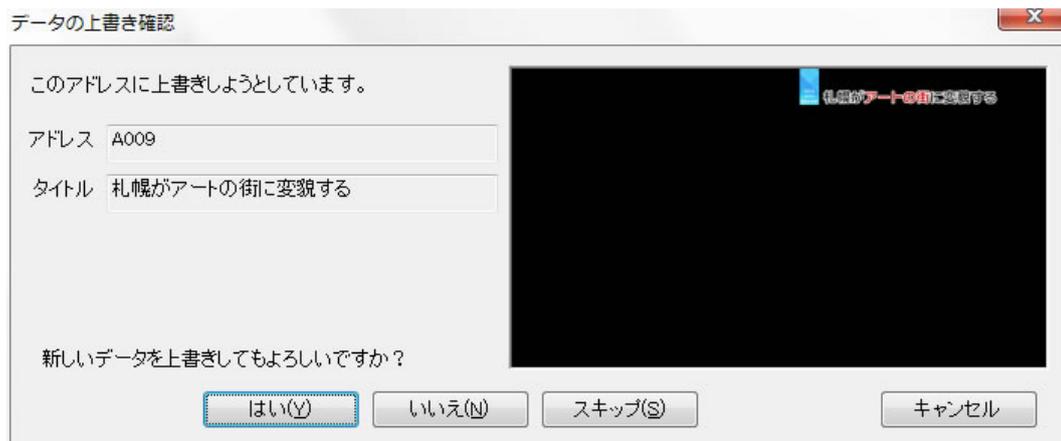
移動したい場所にカーソルを移動し、貼り付けを行います。



[編集]メニューで[貼り付け]を選択、または [Ctrl]キー+[V]キーの押下でも行えます。

### 3.4. テロップの上書き

テロップデータのコピー・移動先に登録済みのテロップがある場合は、次のような確認メッセージを表示します。



・[はい]

現在表示されているアドレスに書きをします。

・[いいえ]

書きをしません。次のアドレスにコピーまたは移動します。

・[スキップ]

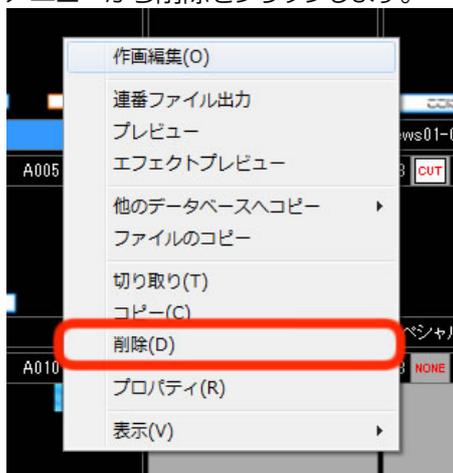
以降のテロップデータ全て、登録済みアドレスをスキップし、空いているアドレスを探して登録します。

・[キャンセル]

処理をキャンセルします。

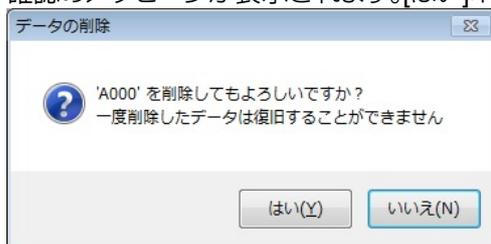
### 3.5. 削除

テロップを削除するには、削除したいテロップを選択し、右クリックで表示されるショートカットメニューから削除をクリックします。



[編集]メニューで[削除]を選択、または [Delete]キーの押下でも行えます。

確認のメッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックすると削除されます。



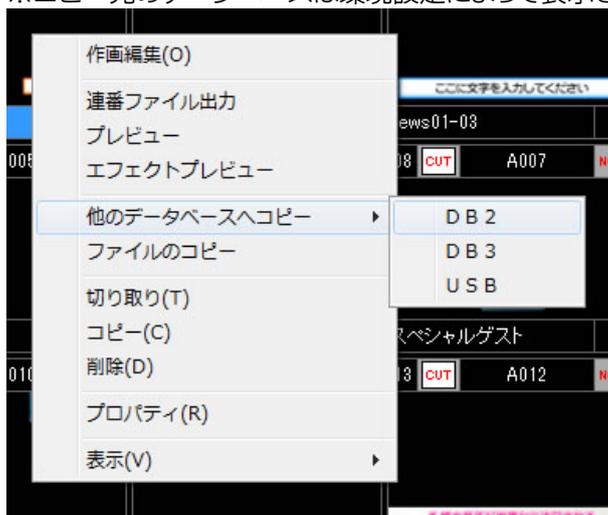
### 3.6. 他のデータベースコピー

選択したテロップを別のデータベースの同じアドレスへコピーします。主にバックアップ用のデータベースへのバックアップ、またはリストアで使用します。

コピーするテロップを選択します。

右クリックでショートカットメニューを表示し、[他のデータベースへコピー]—[コピー先データベース]を選択します。

※コピー先のデータベースは環境設定によって表示される内容が異なります。



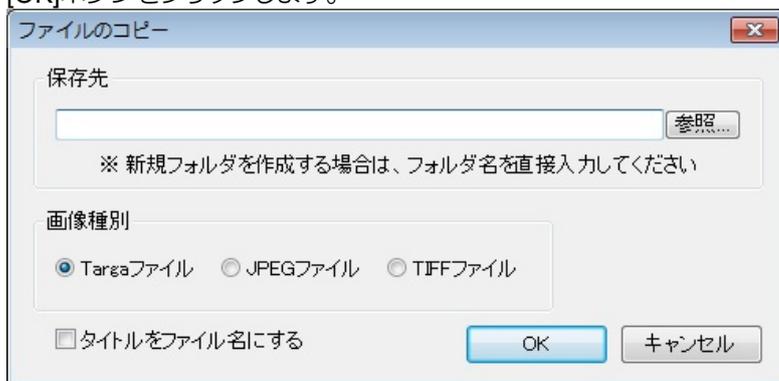
### 3.7. ファイルのコピー

保存先を指定してファイルを静止画としてコピーします。

コピーしたいテロップ上で右クリックし、[ファイルのコピー]を選択します。



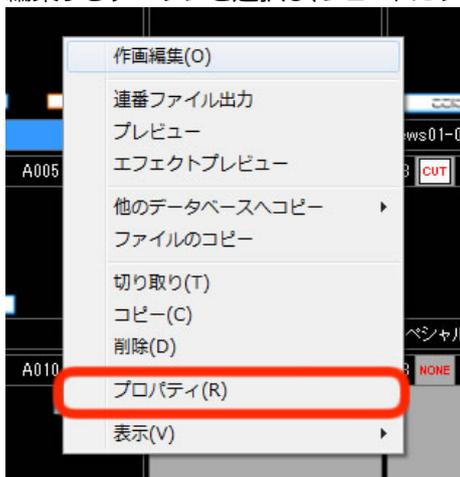
ファイルのコピーでは、保存先や画像種別、タイトルをファイル名にする場合はチェックを入れて、[OK]ボタンをクリックします。



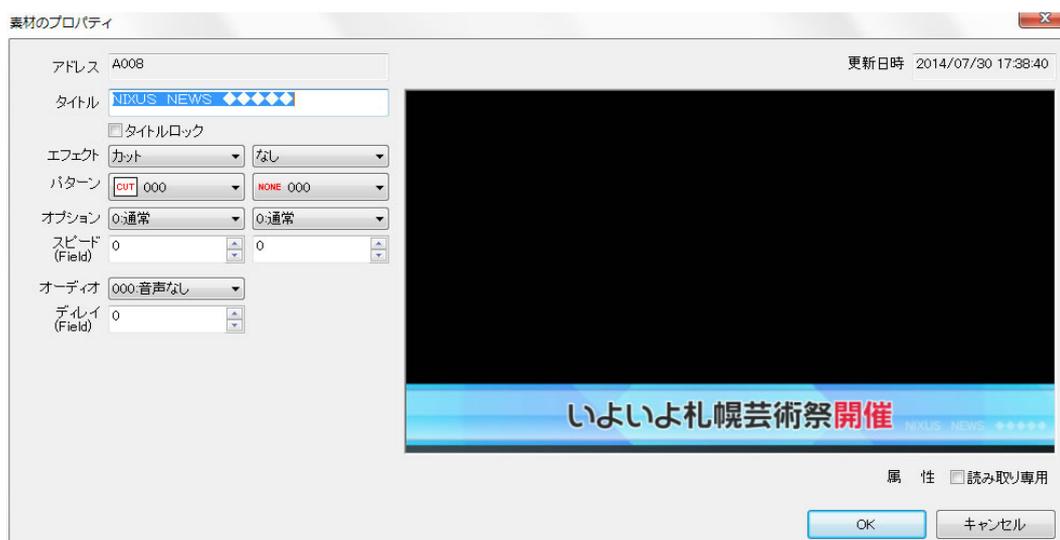
### 3.8. プロパティの変更

テロップのタイトル、エフェクトを変更します。

編集するテロップを選択し、ショートカットメニューから[プロパティ]を選択します。



タイトル、IN/OUT エフェクト、属性の修正を行います。



[OK]ボタンで確定します。

### 3.8.1. エフェクトの設定

IN と OUT のエフェクト設定が可能です。

左が IN エフェクト、右が OUT エフェクトとなります。エフェクトの種類、パターン、方向、スピードなどを設定できます。

### 3.8.2. 属性の設定

テロップデータを読み取り専用として設定することができます。

読み取り専用のテロップは、赤く表示されます。

この属性を設定すると、ファイル属性を物理的に読み取り専用にしますので、移動・削除・テロップの修正が行えなくなります。

## 3.9. 作画編集

テロップを選択して右クリックでショートカットメニューを表示し、[作画編集]を選択すると作画ソフトが起動します。



※詳しいテロップの作成方法については、作画ソフトマニュアルをご参照ください。

## 4. 画像変換

エクスプローラから画像ファイルをドラッグ&ドロップして、テロップとして登録します。

### 4.1. 対応ファイル形式

#### 4.1.1. 画像形式

- ・TARGA ファイル(.tga)   ・JPEG ファイル(.jpg)   ・PNG ファイル(.png)
- ・PICT ファイル(.pct)   ・BMP ファイル(.bmp)

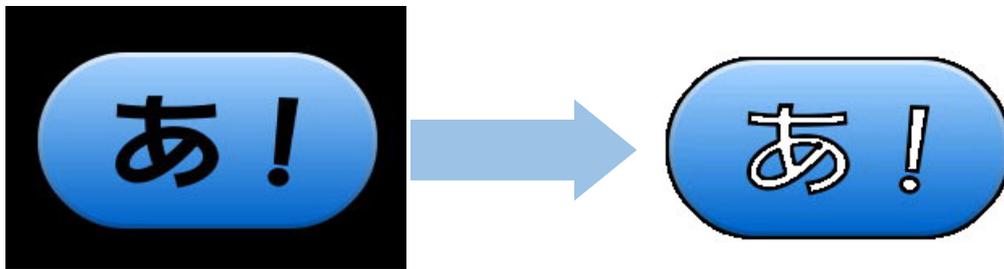
#### 4.1.2. 画像サイズ

- ・ 1920×1080 pixel   ・ 720×486 pixel
- ・ 640×480 pixel    ・ 720×480 pixel
- ・ 646×486 pixel    ・ 640×486 pixel

#### 4.1.3. その他対応形式

- ・ DSO ファイル(.dso)

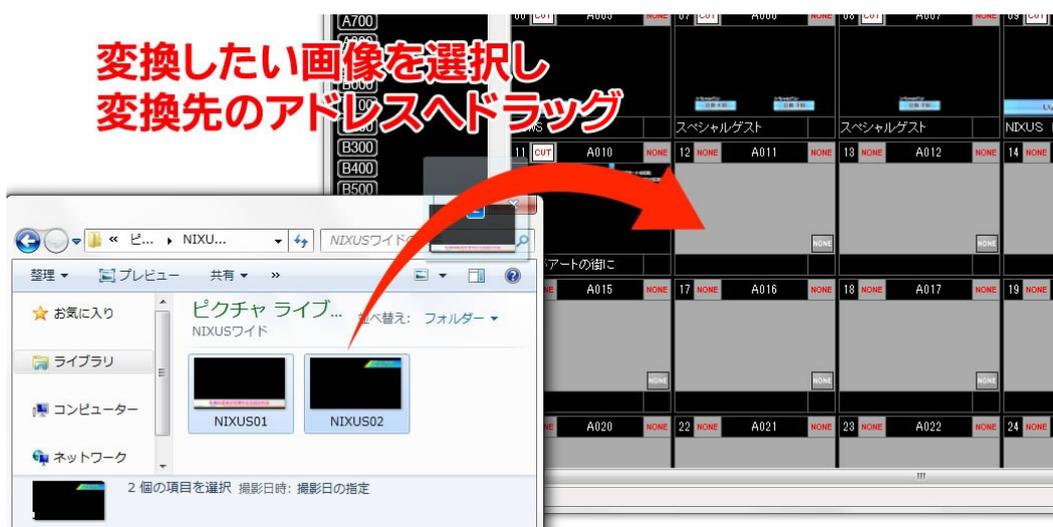
32bit の TGA ファイル以外は黒味部分をカットし、キーを作成します。このとき、エッジやシャドウの設定がある場合は自動的に作成します。



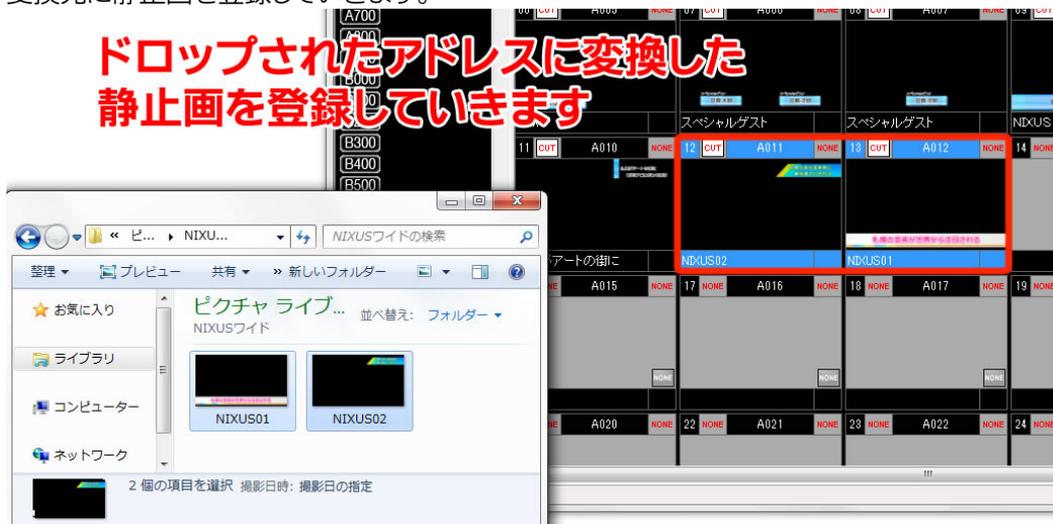
これらの設定値は設定ファイルによって変更可能です。

### 4.2. 変換方法

エクスプローラから変換対象の画像ファイルを選択し、登録したいアドレスへドラッグ&ドロップします。



変換先に静止画を登録していきます。

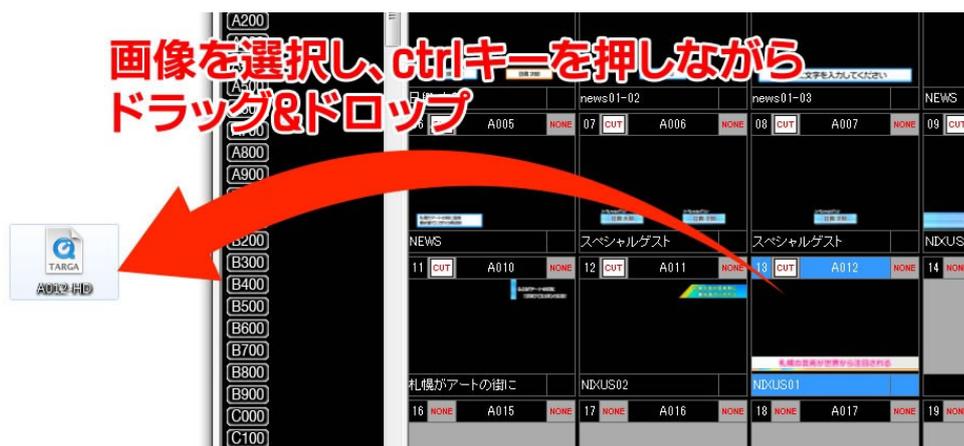


複数ファイルの場合は、ドラッグしたアドレスから順に登録されていきます。

#### 4.3. 静止画ファイルの保存

登録されているテロップを画像ファイルとして保存することができます。

保存したいテロップを選択し[Ctrl]キーを押しながらエクスプローラなどにドラッグ&ドロップすると、TGA ファイルとして保存します。



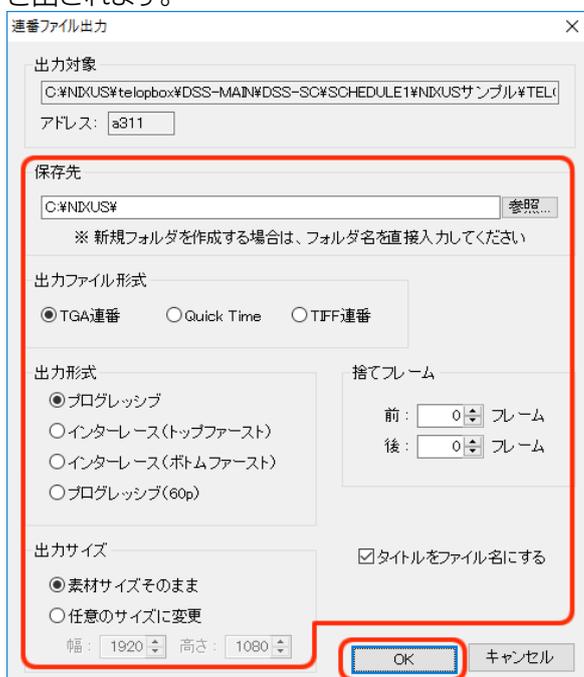
※アニメーションの場合も、プレビュー表示されているイメージを TGA ファイルとして保存します。

#### 4.4. 連番ファイル出力

登録されている動き付きのテロップを連番ファイルか QuickTime 形式の動画で出力することができます。

テロップを選択して右クリックでショートカットメニューを表示し、[連番ファイル出力]を選択すると[連番ファイル出力]ダイアログが表示されます。

出力時のオプションを指定して[OK]ボタンをクリックしてください。指定した設定でファイルが書き出されます。



##### ・出力対象

出力するテロップのパスとアドレスが表示されます。

・保存先

保存するフォルダを指定します。

・出力ファイル形式

書き出すファイルの形式を、TGA 連番/QuickTime/TIFF 連番から選択します。

・出力形式

書き出す形式を、プログレッシブインターレース(トップファースト)/インターレース(ボトムファースト)/プログレッシブ(60p)の4種類から選択します。

・出力サイズ

出力サイズを指定することができます。

・捨てフレーム

テロップの最初または最後に決まり絵のフレームを追加することができます。

・タイトルをファイル名にする

チェックを付けると、出力するテロップのタイトルがファイル名になります。

## 4.5. エフェクトプレビュー

登録されているテロップをエフェクトごと確認することができます。

テロップを選択して右クリックでショートカットメニューを表示し、[エフェクトプレビュー]を選択するとエフェクトプレビューが表示されます。テロップのダブルクリックでも行えます。

[TAKE]ボタンをクリックすると、テロップを動き付きで確認することができます。また、キーボードの[Space]キーを押下することで同様に確認ができます。



・TAKE

アドレス順にテロップを順次プレビューしていくことができます。エフェクトの設定されているテロップも[TAKE]をクリックすることでエフェクトをスタートすることができます。

・BACK

1 つ前のアドレスのテロップを表示します。

・SKIP

次のアドレスのテロップを表示します。

・CLEAR

表示中のテロップをクリアします。

・一時停止

アニメーションやエフェクトなどの動きのあるテロップの動作を停止します。

・背景変更

背景に画像を設定できます。

・背景解除

背景画像を設定している場合、背景を解除します。